

「統括センターの新設について」提案を受ける！

1. 実施内容

「いわき統括センター」「原ノ町統括センター」を新設する。

2. 実施箇所

新設箇所	融合する箇所	エリア
いわき統括センター	泉駅、いわき駅、いわき運輸区	勿来駅～夜ノ森駅
原ノ町統括センター	原ノ町駅、原ノ町運輸区	大野駅～新地駅

※各駅の管理エリアは各統括センターが踏襲する。

3. 実施日

2023年6月1日(木)

4. その他

- (1) いわき地区指導センターを解消し、主な業務はいわき統括センターに融合する。
- (2) 各統括センターの設置に伴う必要な教育および訓練は実施する。
- (3) 各統括センターの体制等については、別途示す。

5. 主な議論内容

組合: 今回の目的を明らかにすること。

会社: 新たな価値の創造を一層推進していく観点から、社員一人ひとりの成長意欲に応え、活躍フィールドを拡大させてこれまでの役割分担にとらわれない柔軟な働き方を実現していくため統括センターを新設する。

組合: 「いわき統括センター」と「原ノ町統括センター」を新設する根拠を示すこと。

会社: 統括センターとしては「いわき統括センター」と「原ノ町統括センター」の2つに分けた。いわき地区指導センターを解消するが、今後も同じ範囲を「いわきエリア(仮称)」として「いわき統括センター」が見ていく考えである。規模感や現場実態を鑑みて判断した。

組合: 「いわきエリア(仮称)」を1つの統括センターにしない根拠を示すこと。

会社: 統括センターとして1つの職場にしてしまうと常磐線の勿来～新地と範囲が広すぎる。また、駅同士の融合となるば泉駅・いわき駅と原ノ町駅のため遠くなってしまう。会社で検討した結果、2つの統括センターを設置した上で、1つのエリア管理が最適であると判断した。

組合: 新設する統括センターの指揮命令系統を示すこと。

会社: 現在検討段階だが、「いわきエリア(仮称)」には2人のセンター長が所属し、「いわき統括センター長」が「いわきエリア(仮称)長」になると考えている。体制等については、決まり次第別途示す。

組合: 運用や業務の融合イメージを示すこと。

会社: 現業機関が少ないため、駅と運輸職場の融合を考えている。

組合: 2023年6月1日(木)に実施する根拠を示すこと。

会社: 組織再編施策の完了が来年6月である。こちらに合わせて日付を6月1日(木)とする。

JR東水戸地本は組合員・社員の声を基礎に、今施策に向き合います！